

## 令和5年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告 (短大)

東海学院大学短期大学部 教育研究開発センター

東海学院大学短期大学部では、本学学則第3条に基づき、教育活動の状況について自己点検及び評価を行い、その結果を公開しています。本学科は、「授業の内容及び方法の改善」として、「学内一般公開相互参観」と共に、学生による授業アンケートを実施しています。毎年アンケート項目を点検、改善をしながら無記名によるアンケートを実施しています。学生による授業評価や学生自身の学習への取り組みを評価する項目を設けています。

令和5年度は、担当する科目の授業種別(講義, 演習, 実験・実習)毎に各教員が1科目以上を指定し、調査を実施しました。学期内での授業改善に繋げるために、前期は授業11週目までに、後期は授業8週目までに調査を行い、その結果に基づいて各教員は授業改善に取り組みました。

回答率については年間を通して常勤担当科目で9割を越えており、また非常勤担当科目についてもほぼ9割と比較的高い数値となっております。

### 授業アンケート回答学生数および回答率

#### 【令和5年度前期】

表1 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	7	34.7	88.7%
演習	10	23.1	95.5%
実験・実習	0	-	-
全体(計)	17	27.9	91.9%

学生の有効回答数:474

表2 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	5	34.8	92.1%
演習	6	23.2	90.8%
実験・実習	0	-	-
全体(計)	11	28.5	91.5%

学生の有効回答数:313

#### 【令和5年度後期】

表3 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	9	22.1	92.1%
演習	12	17.0	91.1%
実験・実習	0	-	-
全体(計)	21	19.2	91.6%

学生の有効回答数:403

表4 非常勤教員担当の授業

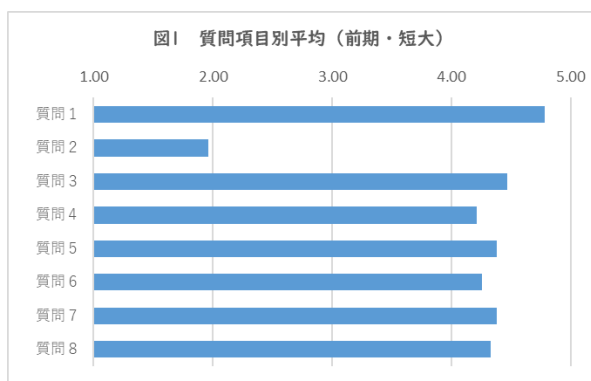
授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	3	17.7	91.4%
演習	9	31.7	89.1%
実験・実習	0	-	-
全体(計)	12	28.2	89.4%

学生の有効回答数:338

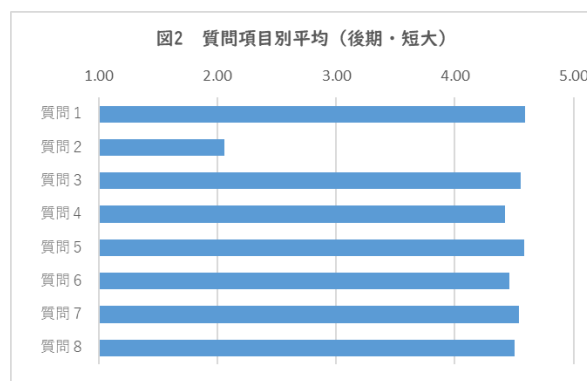
対面授業について、「1回の予習・復習、レポート作成などに費やした時間」は平均2時間前後であることがわかります。また、質問3から質問8については比較的高い数値を示しており、「重要なポイントが示されていた」、「内容は自分にとって有用性が感じられた」授業であるとの回答が得られました(図1および図2)。各教員は、担当科目への評価結果に基づく授業改善に取り組み、学期末には、改善活動について振り返り、今後の改善方針を報告しています。

## 専任教員担当の質問項目別平均

### 【令和5年度前期】



### 【令和5年度後期】



#### 対面授業に関する質問項目 (図1、図2)

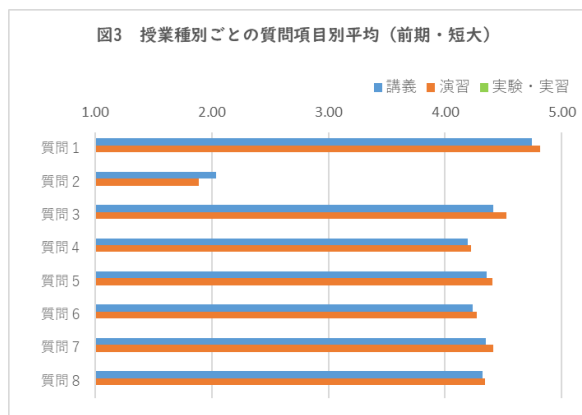
- 質問1: 授業欠席回数
- 質問2: 予習復習などに費やした時間
- 質問3: 授業で重要なポイントが示されていたか
- 質問4: より学習したいと感じたか
- 質問5: 聞き取りやすかったか
- 質問6: 質問や意見が述べられやすかったか
- 質問7: 授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか
- 質問8: この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。

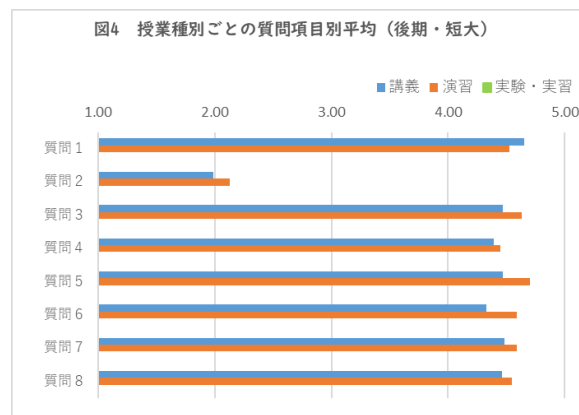
授業種別ごとでは、講義、演習との間で大きな差はみられませんが、演習科目の方が高い数値を示している項目が多いといえます。

## 専任教員担当の授業種別ごとの質問項目別平均

### 【令和5年度前期】



### 【令和5年度後期】



### 対面授業に関する質問項目（図1、図2）

質問1:授業欠席回数

質問2:予習復習などに費やした時間

質問3:授業で重要ポイントが示されていたか

質問4:より学習したいと感じたか

質問5:聞き取りやすかったか

質問6:質問や意見が述べられやすかったか

質問7:授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか

質問8:この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。